

「水循環に関する世論調査」の概要

内閣府政府広報室

- 1 調査目的 水循環に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 2 調査項目 (1) 水循環について
(2) 水の利用について
(3) 地球環境の水問題について
- 3 関係省庁 国土交通省
- 4 調査対象 (1) 母集団 全国18歳以上の日本国籍を有する者
(2) 標本数 3,000人
(3) 抽出方法 層化2段無作為抽出法
- 5 調査時期 令和2年10月22日～12月6日
- 6 調査方法 郵送法
- 7 調査実施機関 一般社団法人 中央調査社
- 8 回収結果 (1) 有効回収数(率) 1,865人(62.2%)
(2) 調査不能数(率) 1,135人(37.8%)
－不能内訳－
宛先不明による返送 18 未返送 1,038 白票 6
代理回答・記入不備 49 期間外 1 災害 0
その他 23

9 性・年齢別回収結果

性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率	性・年齢	標本数	回収数	回収率			
			%				%				%			
男	18～19歳	63	27	42.9	男	18～19歳	34	10	29.4	女	18～19歳	29	17	58.6
	20～29歳	353	186	52.7		20～29歳	181	82	45.3		20～29歳	172	104	60.5
	30～39歳	385	216	56.1		30～39歳	188	101	53.7		30～39歳	197	115	58.4
女	40～49歳	527	337	63.9	女	40～49歳	282	166	58.9	女	40～49歳	245	171	69.8
	50～59歳	478	312	65.3		50～59歳	255	157	61.6		50～59歳	223	155	69.5
計	60～69歳	455	319	70.1	計	60～69歳	224	157	70.1	計	60～69歳	231	162	70.1
	70歳以上	739	468	63.3		70歳以上	336	236	70.2		70歳以上	403	232	57.6
計		3,000	1,865	62.2	計		1,500	909	60.6	計		1,500	956	63.7

調査結果の概要

1 水循環について

(1) 水とのかかわりのある豊かな暮らし

水とのかかわりのある豊かな暮らしとはどのようなものと思うか聞いたところ、「安心して水が飲める暮らし」を挙げた者の割合が88.0%と最も高く、以下、「いつでも水が豊富に使える暮らし」(60.2%)、「洪水の心配のない安全な暮らし」(59.4%)、「おいしい水が飲める暮らし」(35.7%)、「身近に潤いとやすらぎを与えてくれる水辺がある暮らし」(34.2%)などの順となっている。(複数回答、上位5項目)

都市規模別に見ると、大きな差異は見られない。

性別に見ると、「洪水の心配のない安全な暮らし」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「安心して水が飲める暮らし」を挙げた者の割合は40歳代で、「洪水の心配のない安全な暮らし」を挙げた者の割合は60歳代、70歳以上で、「おいしい水が飲める暮らし」を挙げた者の割合は18～29歳で、「身近に潤いとやすらぎを与えてくれる水辺がある暮らし」を挙げた者の割合は70歳以上で、それぞれ高くなっている。(図1、表1)

図1 水とのかかわりのある豊かな暮らし

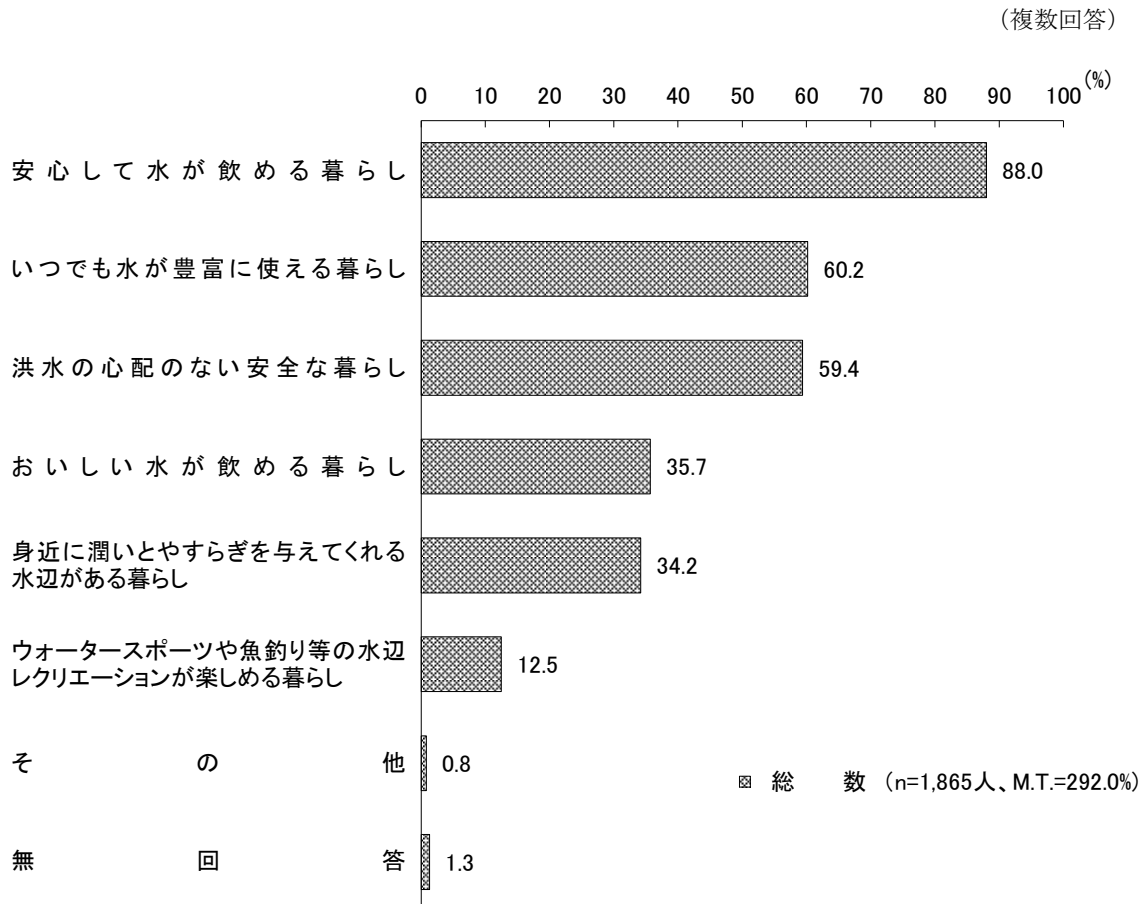


表1 水とのかかわりのある豊かな暮らし

(複数回答)

	該 当 者 数	安 心 し て 水 が 飲 め る 暮 ら し	い つ で も 水 が 豊 富 に 使 え る 暮 ら し	洪 水 の 心 配 の な い 安 全 な 暮 ら し	お い し い 水 が 飲 め る 暮 ら し	身 近 に 潤 い と や す ら ぎ を 与 え て く れ る 水 辺 が あ る 暮 ら し	暮 ら し ウ オ ー タ ク リ エ ー シ ョ ン が 魚 釣 り 等 の 水 辺 レ ク リ エ ー シ ョ ン が 楽 し め る の	そ の 他	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,865	88.0	60.2	59.4	35.7	34.2	12.5	0.8	1.3	292.0
〔都市規模〕										
大都市	533	88.2	61.4	59.5	36.6	34.7	10.9	0.4	1.1	292.7
東京都区部	128	90.6	65.6	63.3	43.0	37.5	9.4	0.8	1.6	311.7
政令指定都市	405	87.4	60.0	58.3	34.6	33.8	11.4	0.2	1.0	286.7
中都市	757	89.3	58.3	58.8	35.8	34.5	13.6	1.1	1.1	292.3
小都市	417	87.3	61.9	59.7	35.5	31.9	13.2	0.5	1.7	291.6
町村	158	83.5	60.8	60.8	32.9	36.7	10.8	1.3	2.5	289.2
〔性〕										
男性	909	87.3	60.3	56.1	36.0	34.5	14.7	0.9	1.3	291.2
女性	956	88.7	60.0	62.4	35.5	33.8	10.4	0.6	1.4	292.8
〔年齢〕										
18～29歳	213	90.1	62.4	39.0	46.9	27.7	12.2	-	0.5	278.9
30～39歳	216	90.7	60.2	52.3	38.4	33.3	17.6	0.5	-	293.1
40～49歳	337	92.0	57.9	57.9	32.0	29.7	11.9	0.6	0.6	282.5
50～59歳	312	89.4	61.2	60.6	36.5	31.7	10.6	0.3	1.0	291.3
60～69歳	319	87.1	60.8	65.8	31.0	32.6	11.3	0.9	1.9	291.5
70歳以上	468	82.7	59.6	67.7	34.6	43.4	12.8	1.5	2.8	305.1

表1-参考 水と関わる豊かな暮らし

(複数回答)

	該 当 者 数	安 心 し て 水 が 飲 め る 暮 ら し	い つ で も 水 が 豊 富 に 使 え る 暮 ら し	お い し い 水 が 飲 め る 暮 ら し	洪 水 の 心 配 の な い 安 全 な 暮 ら し	身 近 に 潤 い と や す ら ぎ を 与 え て く れ る 水 辺 が あ る 暮 ら し	暮 ら し ウ オ ー タ ク リ エ ー シ ョ ン が 魚 釣 り 等 の 水 辺 レ ク リ エ ー シ ョ ン が 楽 し め る の	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成2年7月調査	2,250	※	55.0	64.5	※	38.8	17.1	0.3	2.1	1.3	187.8
平成6年9月調査	2,113	72.8	47.5	43.3	※	45.0	21.3	-	1.7	0.8	241.8
平成13年7月調査	2,111	75.3	56.6	47.3	34.5	34.8	17.8	0.2	1.0	0.8	268.4
平成20年6月調査	1,839	80.0	58.0	47.2	40.7	40.3	19.4	0.2	0.4	0.2	286.4
平成26年7月調査	1,834	88.9	57.5	52.0	51.3	47.7	24.7	0.1	0.5	0.3	323.0

(注1) 平成2年7月調査及び平成6年9月調査では、「あなたにとって水とのかかわりのある豊かな暮らしとはどのようなものですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成26年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(2) 水道水の水源の認知度

使っている水道水の水源は何か知っているか聞いたところ、「知っている」とする者の割合が76.6%（「知っている（具体的な河川や湖の名などまで知っている）」38.9%+「ある程度知っている（河川や湖などであることは知っている）」37.6%）、「知らない」とする者の割合が21.6%（「あまり知らない（漠然としか知らない）」16.4%+「知らない」5.3%）となっている。

性別に見ると、「知っている」とする者の割合は男性で、「知らない」とする者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「知っている」とする者の割合は50歳代から70歳以上で、「知らない」とする者の割合は18～29歳、30歳代で、それぞれ高くなっている。（図2、表2）

図2 水道水の水源の認知度

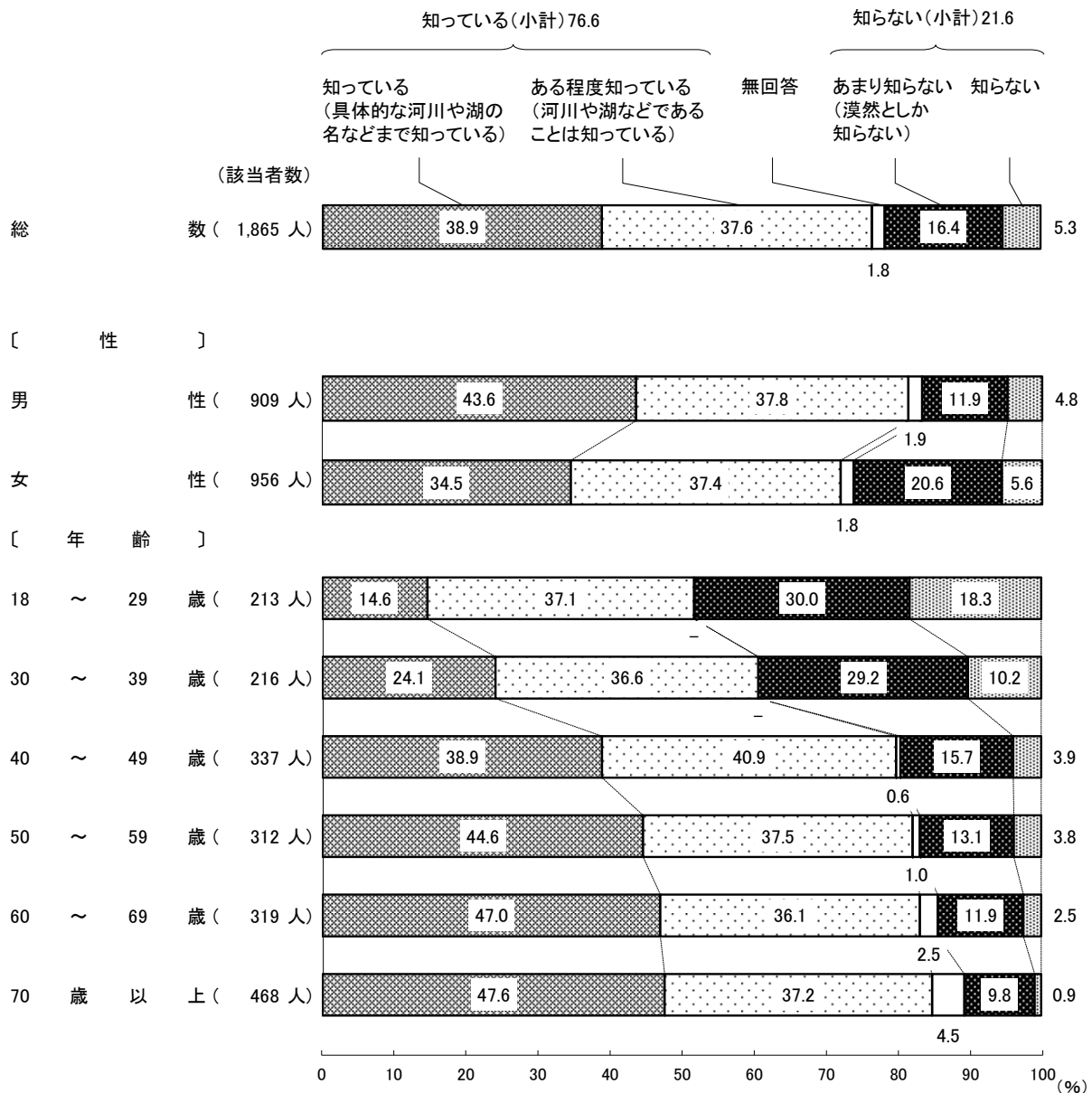


表2 水道水の水源の認知度

	該 当 者 数	知 っ て (小 計) る	知 ら ない (小 計) い		無 回 答			
			の 知 っ て い る (具 体 的 な 河 川 や 湖 の 名 な ど ま で 知 っ て い る)	あ る 程 度 知 っ て い る (河 川 や 湖 な ど で あ る こ と は 知 っ て い る)		あ ま り 知 ら な い (漠 然 と し か 知 ら な い)	知 ら な い	
	人	%	%	%	%	%	%	
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市	1,865	76.6	38.9	37.6	21.6	16.4	5.3	1.8
東 京 都 区 部	533	74.7	34.1	40.5	24.4	19.1	5.3	0.9
政 令 指 定 都 市	128	63.3	20.3	43.0	35.2	28.9	6.3	1.6
中 都 市	405	78.3	38.5	39.8	21.0	16.0	4.9	0.7
小 都 市	757	77.3	38.7	38.6	20.7	14.8	5.9	2.0
町 村	417	75.5	38.4	37.2	22.3	17.5	4.8	2.2
〔 性 〕	158	82.3	57.6	24.7	14.6	11.4	3.2	3.2
男 性	909	81.4	43.6	37.8	16.7	11.9	4.8	1.9
女 性	956	72.0	34.5	37.4	26.3	20.6	5.6	1.8
〔 年 齢 〕								
18 ～ 29 歳	213	51.6	14.6	37.1	48.4	30.0	18.3	-
30 ～ 39 歳	216	60.6	24.1	36.6	39.4	29.2	10.2	-
40 ～ 49 歳	337	79.8	38.9	40.9	19.6	15.7	3.9	0.6
50 ～ 59 歳	312	82.1	44.6	37.5	17.0	13.1	3.8	1.0
60 ～ 69 歳	319	83.1	47.0	36.1	14.4	11.9	2.5	2.5
70 歳 以 上	468	84.8	47.6	37.2	10.7	9.8	0.9	4.5

表2-参考 水道の水源の認知度

	該 当 者 数	知 っ て (小 計) る	知 ら ない (小 計) い		無 回 答		
			の 知 っ て い る (具 体 的 な 河 川 や 湖 の 名 な ど ま で 知 っ て い る)	あ る 程 度 知 っ て い る (河 川 や 湖 な ど で あ る こ と は 知 っ て い る)		あ ま り 知 ら な い (漠 然 と し か 知 ら な い)	知 ら な い
	人	%	%	%	%	%	
平 成 6 年 9 月 調 査	2,113	77.9	53.8	24.1	22.1	13.7	8.4
平 成 11 年 8 月 調 査	2,157	71.9	45.3	26.6	28.1	16.4	11.7
平 成 13 年 7 月 調 査	2,111	73.7	45.2	28.5	26.3	14.0	12.3
平 成 20 年 6 月 調 査	1,839	67.8	42.5	25.2	32.2	17.3	14.9
平 成 26 年 7 月 調 査	1,834	77.4	51.9	25.6	22.6	14.6	8.0

(注1) 「あなたの使っている水道の水の水源は何かご存じですか。この中から1つあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成26年7月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

2 水の利用について

(1) 水道水の質の満足度

現在使用している水道水の質について満足しているか聞いたところ、「全ての用途において満足している」と答えた者の割合が 59.2%、「飲み水以外の用途において満足している」と答えた者の割合が 36.9%、「全ての用途において満足していない」と答えた者の割合が 2.4%となっている。

都市規模別に見ると、「全ての用途において満足している」と答えた者の割合は町村で、「飲み水以外の用途において満足している」と答えた者の割合は大都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「全ての用途において満足している」と答えた者の割合は男性で、「飲み水以外の用途において満足している」と答えた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「全ての用途において満足している」と答えた者の割合は 70 歳以上で、「飲み水以外の用途において満足している」と答えた者の割合は 18～29 歳から 40 歳代で、それぞれ高くなっている。

(図 3、表 3)

図 3 水道水の質の満足度

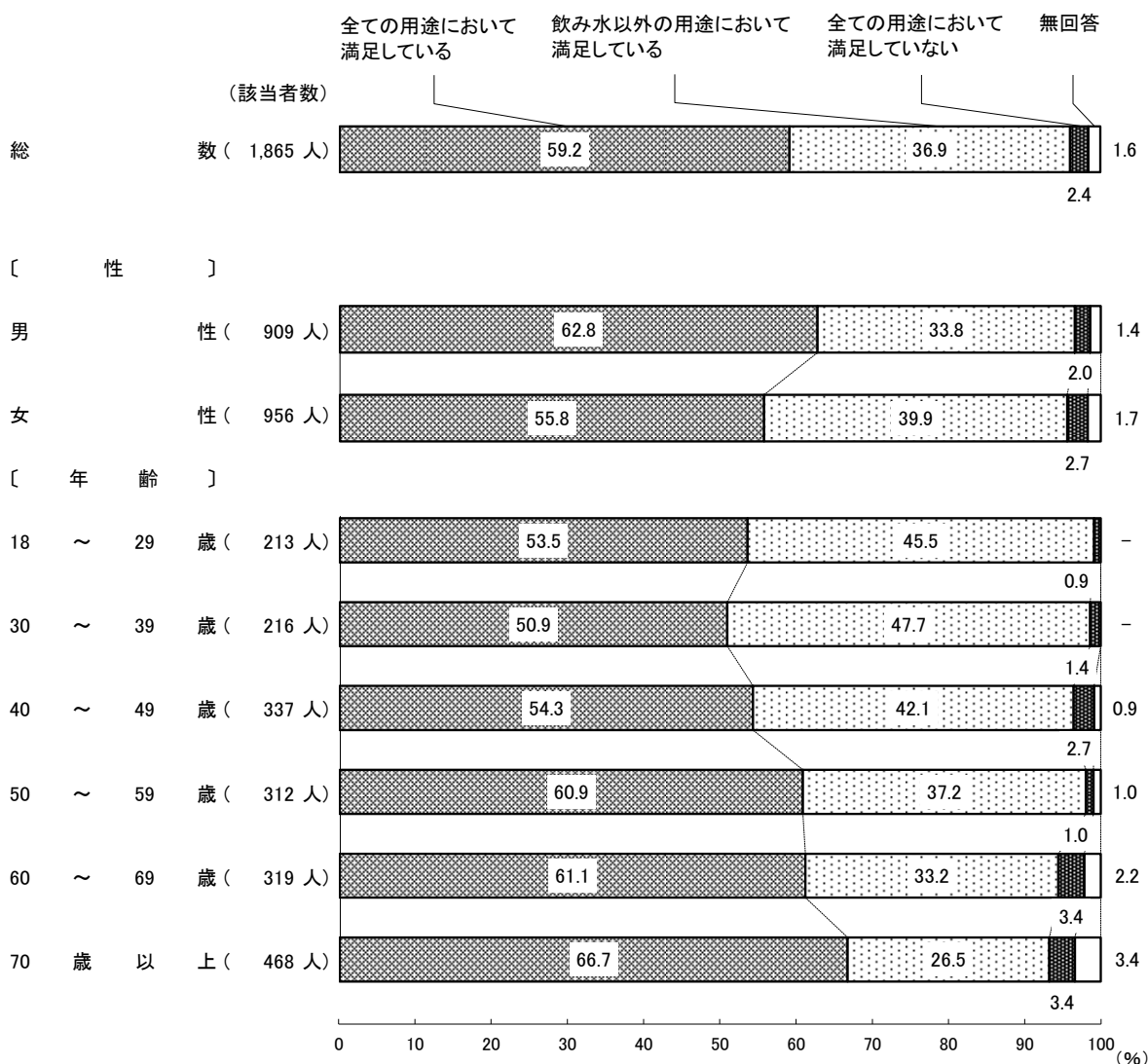


表3 水道水の質の満足度

	該 当 者 数	全 て の 用 途 に お い て 満 足 し て い る	飲 み 水 以 外 の 用 途 に お い て 満 足 し て い る	全 て の 用 途 に お い て 満 足 し て い な い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔 性 〕 男 性 女 性 〔 年 齢 〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,865 533 128 405 757 417 158 909 956 213 216 337 312 319 468	59.2 55.0 51.6 56.0 59.0 61.6 67.7 62.8 55.8 53.5 50.9 54.3 60.9 61.1 66.7	36.9 42.4 46.1 41.2 37.0 33.8 25.9 33.8 39.9 45.5 47.7 42.1 37.2 33.2 26.5	2.4 1.7 0.8 2.0 2.6 2.4 3.2 2.0 2.7 0.9 1.4 2.7 1.0 3.4 3.4	1.6 0.9 1.6 0.7 1.3 2.2 3.2 1.4 1.7 - - 0.9 1.0 2.2 3.4

表3-参考 水道水の質に対する満足度

	該 当 者 数	全 て の 用 途 に お い て 満 足 し て い る	飲 み 水 以 外 の 用 途 に お い て 満 足 し て い る	全 て の 用 途 に お い て 満 足 し て い な い	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
平成20年6月調査	1,839	50.4	39.9	8.0	0.3	1.4

(注) 平成20年6月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(2) 水をどのように飲んでいるか

普段、水をどのように飲んでいるか聞いたところ、「特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んでいる」を挙げた者の割合が43.9%と最も高く、以下、「ミネラルウォーターなどを購入して飲んでいる」(33.9%)、「浄水器を設置して水道水を飲んでいる」(28.0%)、「水道水を一度沸騰させて飲んでいる」(18.4%)の順となっている。(複数回答)

都市規模別に見ると、「特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んでいる」を挙げた者の割合は町村で、「ミネラルウォーターなどを購入して飲んでいる」を挙げた者の割合は大都市で、それぞれ高くなっている。

性別に見ると、「特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んでいる」を挙げた者の割合は男性で、「浄水器を設置して水道水を飲んでいる」、「水道水を一度沸騰させて飲んでいる」を挙げた者の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると、「特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んでいる」、「水道水を一度沸騰させて飲んでいる」を挙げた者の割合は70歳以上で、「ミネラルウォーターなどを購入して飲んでいる」を挙げた者の割合は18～29歳、30歳代で、それぞれ高くなっている。

(図4、表4)

図4 水をどのように飲んでいるか

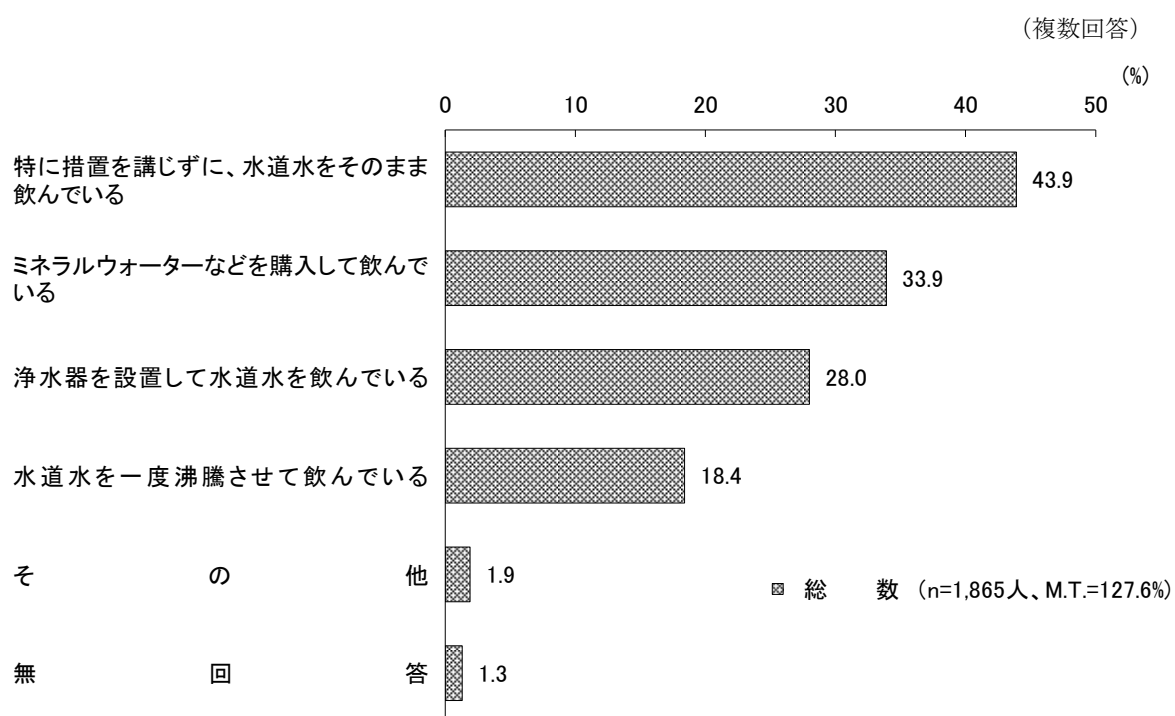


表4 水をどのように飲んでいるか

(複数回答)

	該 当 者 数	特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んでいる	購入して飲んでいる	浄水器を設置して水道水を飲んでいる	水道水を一度沸騰させて飲んでいる	その他	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,865	43.9	33.9	28.0	18.4	1.9	1.3	127.6
〔都市規模〕								
大都市	533	36.8	40.7	30.2	19.5	1.5	0.8	129.5
東京都区部	128	32.8	50.0	27.3	18.8	0.8	1.6	131.3
政令指定都市	405	38.0	37.8	31.1	19.8	1.7	0.5	128.9
中都市	757	44.4	32.8	28.8	19.9	1.7	1.2	128.8
小都市	417	46.8	34.1	26.9	15.8	2.6	1.7	127.8
町	158	58.2	16.5	20.3	14.6	1.9	3.2	114.6
〔性〕								
男性	909	48.3	32.1	24.9	16.1	2.1	1.4	124.9
女性	956	39.7	35.7	31.1	20.7	1.7	1.3	130.1
〔年齢〕								
18～29歳	213	31.9	45.5	26.8	16.4	1.4	-	122.1
30～39歳	216	34.7	43.5	25.9	19.9	2.3	-	126.4
40～49歳	337	40.9	34.4	30.0	16.6	1.2	0.6	123.7
50～59歳	312	44.9	34.3	31.1	14.7	1.6	1.0	127.6
60～69歳	319	46.1	30.4	28.2	17.6	1.3	1.9	125.4
70歳以上	468	53.6	26.1	26.1	23.1	3.0	3.0	134.8

表4-参考 飲み水について

(複数回答)

	該 当 者 数	特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んでいる	浄水器を設置して水道水を飲んでいる	購入して飲んでいる	水道水を一度沸騰させて飲んでいる	その他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成20年6月調査	1,839	37.5	32.0	29.6	27.7	2.8	0.1	129.8

(注) 平成20年6月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

(3) 「水の日」、「水の週間」の認知度

8月1日が「水の日」、この日から1週間が「水の週間」であることを知っているか聞いたところ、「水の日」、「水の週間」を両方とも知っている」と答えた者の割合が4.5%、「水の日」だけ知っている」と答えた者の割合が6.4%、「水の週間」だけ知っている」と答えた者の割合が2.7%、「水の日」、「水の週間」を両方とも知らない」と答えた者の割合が84.8%となっている。

性別に見ると、大きな差異は見られない。

年齢別に見ると、「水の日」、「水の週間」を両方とも知らない」と答えた者の割合は18～29歳から40歳代で高くなっている。(図5、表5)

図5 「水の日」、「水の週間」の認知度

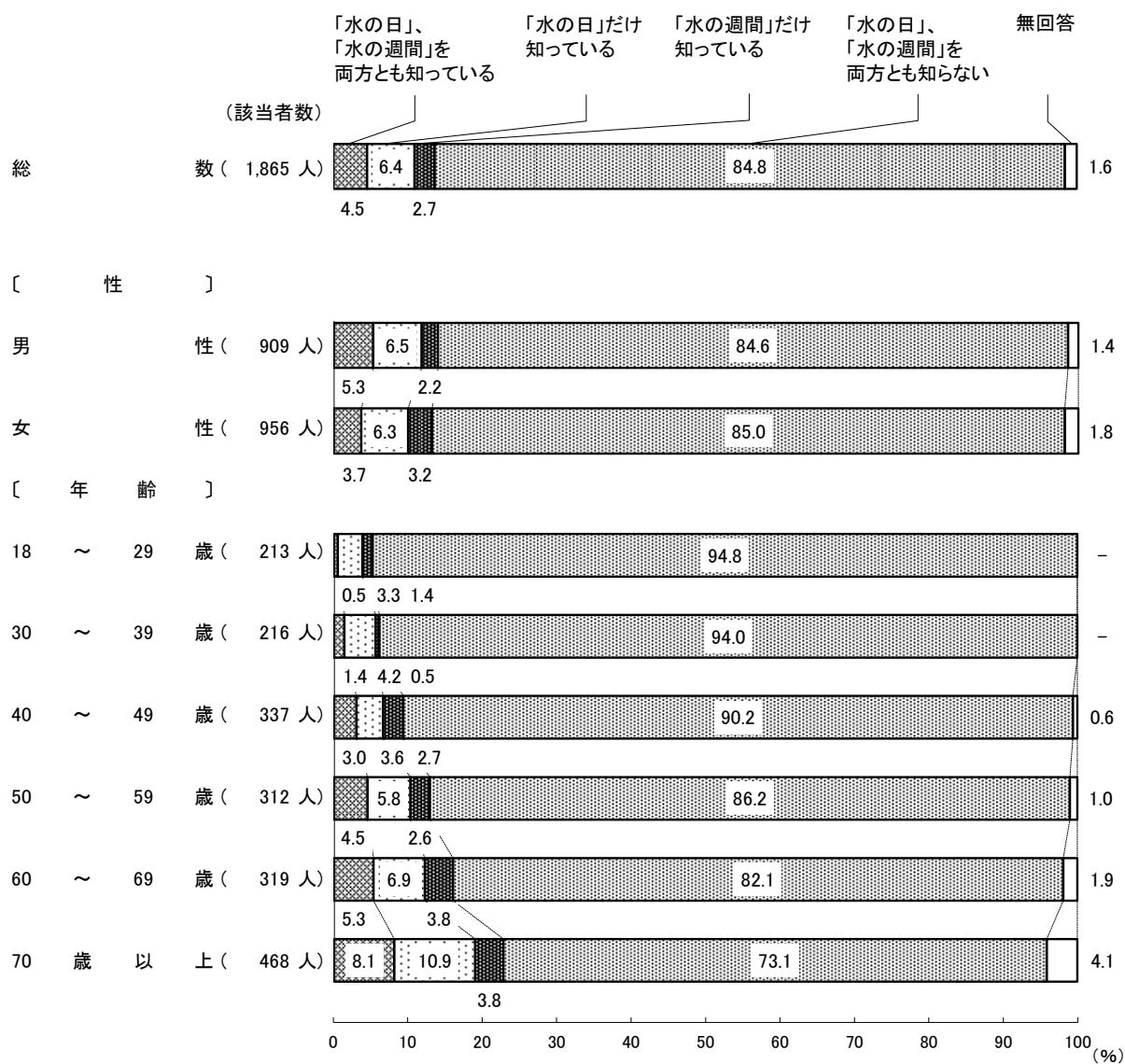


表5 「水の日」、「水の週間」の認知度

	該 当 者 数	「水の日」、「水の週間」を 両方とも知っている	「水の日」だけ知っている	「水の週間」だけ知っている	「水の日」、「水の週間」を 両方とも知らない	無 回 答
	人	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,865	4.5	6.4	2.7	84.8	1.6
大 都 市	533	4.9	5.8	1.7	86.5	1.1
東 京 都 区	128	0.8	3.9	0.8	93.0	1.6
政 令 指 定 都 市	405	6.2	6.4	2.0	84.4	1.0
中 都 市	757	3.7	5.7	2.8	86.4	1.5
小 都 市	417	5.0	7.4	4.1	81.5	1.9
町 〔性〕	158	5.1	8.9	2.5	80.4	3.2
男 性	909	5.3	6.5	2.2	84.6	1.4
女 性	956	3.7	6.3	3.2	85.0	1.8
〔年 齢〕						
18 ～ 29 歳	213	0.5	3.3	1.4	94.8	-
30 ～ 39 歳	216	1.4	4.2	0.5	94.0	-
40 ～ 49 歳	337	3.0	3.6	2.7	90.2	0.6
50 ～ 59 歳	312	4.5	5.8	2.6	86.2	1.0
60 ～ 69 歳	319	5.3	6.9	3.8	82.1	1.9
70 歳 以 上	468	8.1	10.9	3.8	73.1	4.1

3 地球環境の水問題について

(1) 気候変動の影響による水問題

世界的に、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、水問題がさらに深刻化することが懸念されているが、どのようなことが心配だと思うか聞いたところ、「気候の不安定化による洪水や土砂災害の頻発」を挙げた者の割合が 85.6%と最も高く、以下、「降水量の変化や水温の上昇による自然環境や生態系への影響及び河川・湖沼の水質汚濁による上水道の品質悪化」(59.9%)、「海面上昇による標高の低い沿岸地域の氾濫」(42.6%)、「渇水の増大による水不足及び海外での食料生産の不安定化」(41.9%)などの順となっている。(複数回答、上位4項目)

性別に見ると、「気候の不安定化による洪水や土砂災害の頻発」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「気候の不安定化による洪水や土砂災害の頻発」を挙げた者の割合は60歳代で、「降水量の変化や水温の上昇による自然環境や生態系への影響及び河川・湖沼の水質汚濁による上水道の品質悪化」を挙げた者の割合は60歳代、70歳以上で、「海面上昇による標高の低い沿岸地域の氾濫」を挙げた者の割合は40歳代で、それぞれ高くなっている。

(図6、表6)

図6 気候変動の影響による水問題

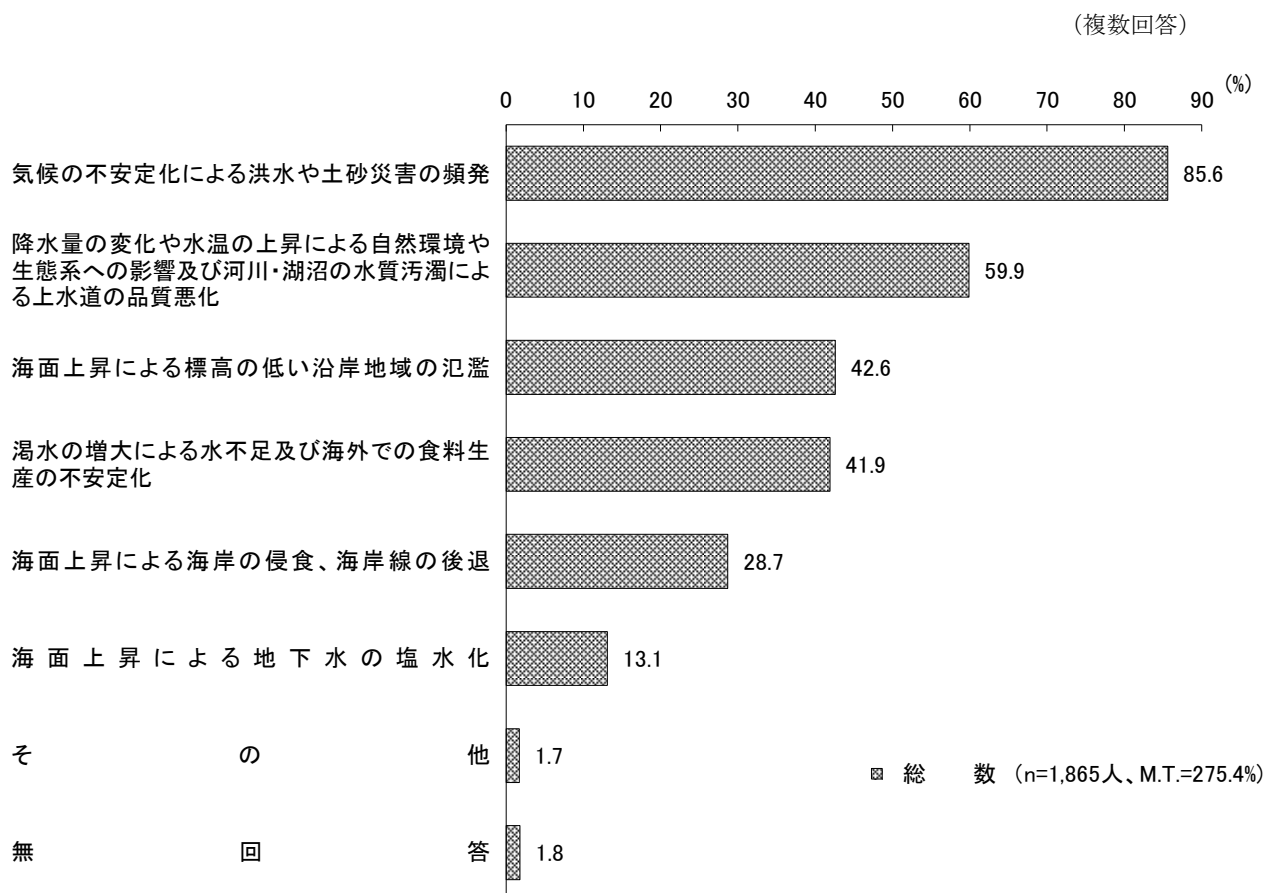


表6 気候変動の影響による水問題

(複数回答)

	該 当 者 数	気 候 の 不 安 定 化 に よ る 洪 水 や 土 砂 災 害 の 頻 発	降 水 量 の 変 化 や 水 温 の 上 昇 に よ る 自 然 環 境 や 生 態 系 へ の 影 響 及 び 河 川 ・ 湖 沼 の 水 質 汚 濁 に よ る 上 水 道 の 品 質 悪 化	海 面 上 昇 に よ る 標 高 の 低 い 沿 岸 地 域 の 氾 濫	渇 水 の 増 大 に よ る 水 不 足 及 び 海 外 で の 食 料 生 産 の 不 安 定 化	海 面 上 昇 に よ る 海 岸 の 侵 食 、 海 岸 線 の 後 退	海 面 上 昇 に よ る 地 下 水 の 塩 水 化	そ の 他	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 大 都 市 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 女 〔年 齢〕 18 ～ 29 歳 30 ～ 39 歳 40 ～ 49 歳 50 ～ 59 歳 60 ～ 69 歳 70 歳 以 上	1,865	85.6	59.9	42.6	41.9	28.7	13.1	1.7	1.8	275.4
大 都 市	533	84.6	57.8	46.0	44.5	32.5	16.3	0.9	1.5	284.1
東 京 都 区 部	128	87.5	53.9	57.0	45.3	39.8	22.7	1.6	1.6	309.4
政 令 指 定 都 市	405	83.7	59.0	42.5	44.2	30.1	14.3	0.7	1.5	276.0
中 都 市	757	86.9	60.4	41.6	42.8	27.7	12.4	2.1	1.3	275.3
小 都 市	417	84.4	62.1	41.7	40.5	26.4	11.0	1.4	2.4	270.0
町 村	158	85.4	59.5	38.6	32.9	26.6	10.8	3.2	3.8	260.8
〔性〕 男	909	83.6	59.2	40.7	41.9	26.8	12.3	2.3	1.7	268.5
女	956	87.4	60.7	44.5	41.9	30.4	13.8	1.2	2.0	281.9
〔年 齢〕 18 ～ 29 歳	213	77.9	52.1	47.4	45.1	32.9	12.2	2.3	0.5	270.4
30 ～ 39 歳	216	86.1	54.6	39.4	44.9	27.8	13.0	0.9	-	266.7
40 ～ 49 歳	337	86.4	48.7	49.6	45.7	31.5	12.5	1.8	0.6	276.6
50 ～ 59 歳	312	88.1	60.3	43.3	40.1	27.2	12.8	3.5	1.0	276.3
60 ～ 69 歳	319	89.7	64.9	38.6	39.5	26.6	12.5	0.9	2.5	275.2
70 歳 以 上	468	83.8	70.5	39.3	39.3	27.6	14.5	1.1	4.3	280.3

表6－参考1 地球温暖化による身近な水問題

(複数回答)

	該 当 者 数	気 候 の 不 安 定 化 に よ る 洪 水 や 土 砂 災 害 の 頻 発	産 水の 増 大 に よ る 水 不 足 及 び 海 外 で の 食 料 生 産 の 不 安 定 化	降 水 量 の 変 化 や 水 温 の 上 昇 に よ る 自 然 環 境 汚 染 や 河 川 ・ 湖 沼 の 水 質 汚 濁 に よ る 上 水 道 の 品 質 悪 化	海 面 上 昇 に よ る 標 高 の 低 い 沿 岸 地 域 の 氾 濫	海 面 上 昇 に よ る 海 岸 の 浸 食 、 海 岸 線 の 後 退	海 面 上 昇 に よ る 地 下 水 の 塩 水 化	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成20年6月調査	1,839	68.2	59.8	56.3	45.3	37.8	28.5	0.5	3.0	299.6

(注1) 「世界的に、地球温暖化によって水問題がさらに深刻化することが懸念されています。あなたはどのようなことが心配だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成20年6月調査は、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

表6－参考2 地球温暖化による水問題

(複数回答)

	該 当 者 数	降 水 量 の 変 化 に よ る 自 然 環 境 汚 染 や 河 川 ・ 湖 沼 の 水 質 汚 濁 に よ る 上 水 道 の 品 質 悪 化	海 面 の 上 昇 に よ る 標 高 の 低 い 沿 岸 地 域 の 氾 濫	洪 水 や 土 砂 災 害 の 頻 発	頻 繁 な 渇 水	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成13年7月調査	2,111	55.4	52.4	44.5	39.6	0.6	7.2	199.8

(注) 「世界的に、地球温暖化によって水問題がさらに深刻化することが懸念されています。あなたはどのようなことが心配だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(2) 行政に力を入れて欲しいこと

水とかかわりのある豊かな生活を将来にも続けていくために、行政に力を入れて欲しいと思うことを聞いたところ、「洪水・土砂災害防止施設の整備」を挙げた者の割合が78.5%と最も高く、以下、「水辺環境の保全と整備」(47.8%)、「水質汚濁防止のための下水道等の整備」(47.5%)、「水源地域の整備・保全」(44.6%)、「河川や湖沼の水質浄化対策」(40.8%)などの順となっている。(複数回答、上位5項目)

都市規模別に見ると、「河川や湖沼の水質浄化対策」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると、「水辺環境の保全と整備」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「水源地域の整備・保全」を挙げた者の割合は60歳代、70歳以上で高くなっている。(図7、表7)

図7 行政に力を入れて欲しいこと

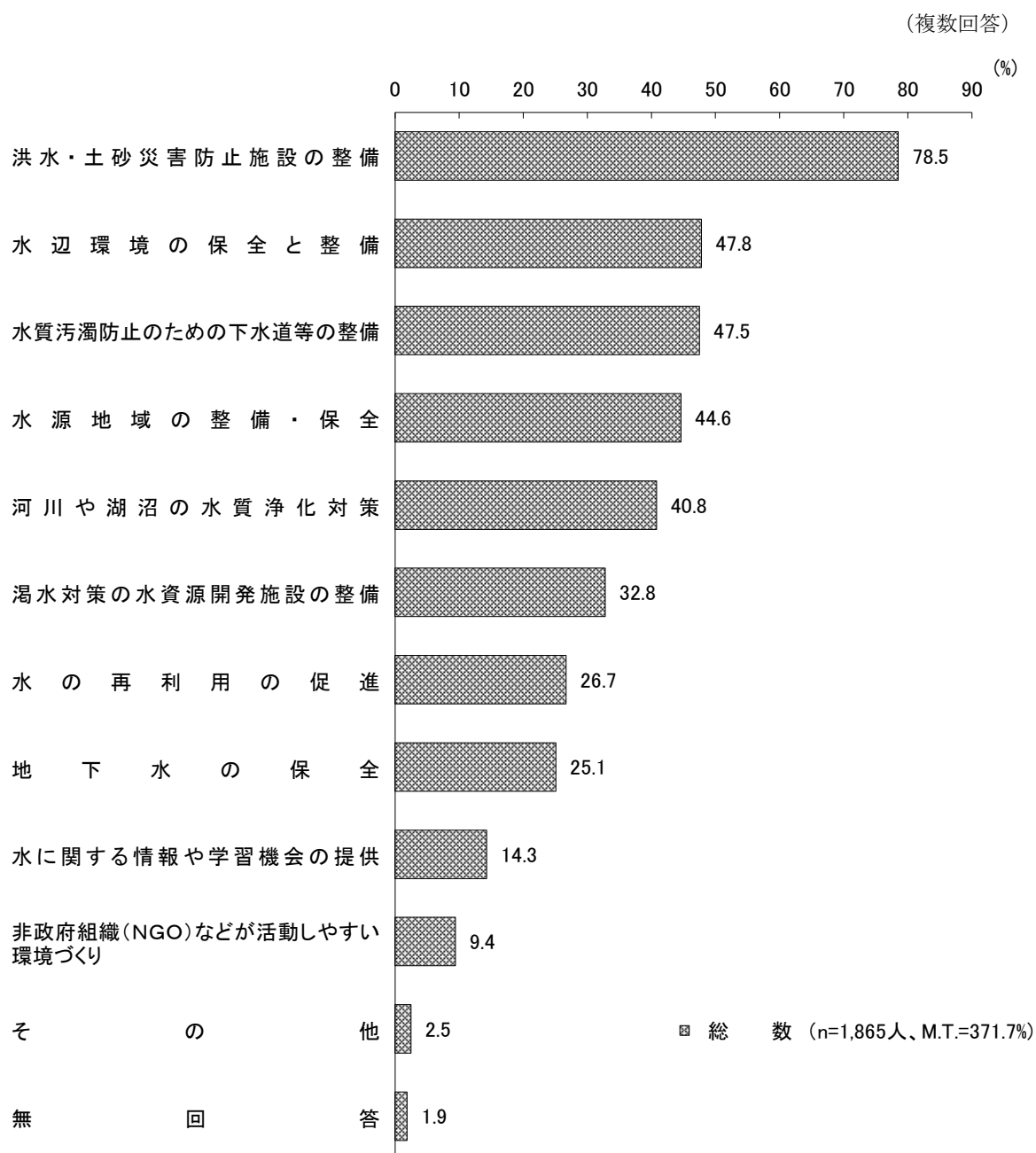


表7 行政に力を入れて欲しいこと

(複数回答)

	該 当 者 数	洪水・土砂災害防止施設の整備	水辺環境の保全と整備	水質汚濁防止のための下水道等の整備	水源地域の整備・保全	河川や湖沼の水質浄化対策	渇水対策の水資源開発施設の整備	水の再利用の促進	地下水の保全	水に関する情報や学習機会の提供	環境づくり 非政府組織（NGO）などが活動しやすい	その他	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,865	78.5	47.8	47.5	44.6	40.8	32.8	26.7	25.1	14.3	9.4	2.5	1.9	371.7
〔都市規模〕														
大都市	533	78.2	51.4	48.8	47.8	45.0	35.1	30.6	27.0	14.3	11.4	2.3	1.3	393.2
東京都区部	128	79.7	54.7	56.3	43.0	51.6	43.0	42.2	32.8	15.6	12.5	3.1	1.6	435.9
政令指定都市	405	77.8	50.4	46.4	49.4	43.0	32.6	26.9	25.2	13.8	11.1	2.0	1.2	379.8
中都市	757	78.1	48.0	46.5	42.3	38.6	34.6	28.3	24.2	13.9	8.6	3.3	1.7	367.9
小都市	417	80.3	46.0	47.7	44.4	42.9	30.9	23.5	23.3	16.3	9.4	1.2	2.2	368.1
町	158	76.6	39.9	46.8	45.6	31.0	20.9	14.6	28.5	10.8	6.3	2.5	3.8	327.2
〔性〕														
男性	909	77.0	44.4	47.2	45.9	41.6	33.0	26.2	26.3	13.2	8.6	3.0	1.4	367.8
女性	956	79.9	51.0	47.7	43.4	40.0	32.5	27.2	24.1	15.3	10.1	2.0	2.3	375.5
〔年齢〕														
18～29歳	213	69.0	50.7	41.3	33.3	39.4	30.5	30.0	20.7	14.6	11.3	0.9	-	341.8
30～39歳	216	83.3	50.9	48.1	40.3	41.2	31.0	27.8	18.5	16.2	5.1	4.2	0.5	367.1
40～49歳	337	80.7	46.6	46.0	43.6	40.4	34.7	24.6	22.8	16.0	8.3	3.6	0.9	368.2
50～59歳	312	78.5	50.0	45.2	42.0	41.7	31.4	26.9	26.0	10.6	7.4	2.2	1.0	362.8
60～69歳	319	80.3	43.9	51.7	51.7	39.8	29.2	28.5	26.3	13.8	7.5	1.9	1.9	376.5
70歳以上	468	77.8	47.2	49.6	49.4	41.5	36.5	24.8	30.6	14.7	13.9	2.1	4.7	392.7

表7-参考 行政に力を入れて欲しいこと

(複数回答)

	該 当 者 数	洪水・土砂災害防止施設の整備	水辺環境の保全と整備	水の再利用の促進	河川や湖沼の水質浄化対策	水質汚濁防止のための下水道等の整備	水源地域の整備・保全	渇水対策の水資源開発施設の整備	地下水の保全	水に関する情報や学習機会の提供	NGO等が活動しやすい環境づくり	その他	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成13年7月調査	2,111	50.8	46.3	44.4	50.1	51.7	32.4	34.8	31.8	21.1	14.1	0.9	3.8	2.3	384.5
平成20年6月調査	1,839	53.1	52.5	52.0	48.9	43.6	36.5	35.3	34.6	26.2	17.6	0.4	1.6	1.5	403.8

(注) 平成20年6月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和2年10月調査との単純比較は行わない。

水循環に関する世論調査

令和2年10月

調査時期：令和2年10月22日から令和2年12月6日
調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人
有効回収数(率)：1,865人(62.2%)

ここからは、水循環についておうかがいします

問1. あなたは、水とのかかわりのある豊かな暮らしとはどのようなものと思いますか。(〇はいくつでも)

- (34.2) 1. 身近に潤いとやすらぎを与えてくれる水辺がある暮らし
(60.2) 2. いつでも水が豊富に使える暮らし
(88.0) 3. 安心して水が飲める暮らし
(35.7) 4. おいしい水が飲める暮らし
(59.4) 5. 洪水の心配のない安全な暮らし
(12.5) 6. ウォータースポーツや魚釣り等の水辺レクリエーションが楽しめる暮らし
(0.8) 7. その他(具体的に→) _____
(1.3) 無回答 (M. T. =292.0)

問2. あなたの使っている水道水の水源は何か知っていますか。(〇は1つ)

- (38.9) 1. 知っている(具体的な河川や湖の名などまで知っている)
(37.6) 2. ある程度知っている(河川や湖などであることは知っている)
(16.4) 3. あまり知らない(漠然としか知らない)
(5.3) 4. 知らない
(1.8) 無回答

問3. あなたは、現在使用している水道水の質について満足していますか。(〇は1つ)

- (59.2) 1. 全ての用途において満足している
(36.9) 2. 飲み水以外の用途において満足している
(2.4) 3. 全ての用途において満足していない
(1.6) 無回答

問4. あなたは、普段、水をどのように飲んでいきますか。(〇はいくつでも)

- (43.9) 1. 特に措置を講じずに、水道水をそのまま飲んでいる
(28.0) 2. 浄水器を設置して水道水を飲んでいる
(33.9) 3. ミネラルウォーターなどを購入して飲んでいる
(18.4) 4. 水道水を一度沸騰させて飲んでいる
(1.9) 5. その他(具体的に→) _____
(1.3) 無回答 (M. T. =127.6)

問5. あなたは、8月1日が「水の日」、この日から1週間が「水の週間」であることを知っていますか。(〇は1つ)

- (4.5) 1. 「水の日」、「水の週間」を両方とも知っている
(6.4) 2. 「水の日」だけ知っている
(2.7) 3. 「水の週間」だけ知っている
(84.8) 4. 「水の日」、「水の週間」を両方とも知らない
(1.6) 無回答

次のページの問6に進んでください

問6. 世界的に、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、水問題がさらに深刻化することが懸念されています。あなたは、どのようなことが心配だと思いますか。
(○はいくつでも)

- (85.6) 1. 気候の不安定化による洪水や土砂災害の頻発
- (41.9) 2. 渇水の増大による水不足及び海外での食料生産の不安定化
- (42.6) 3. 海面上昇による標高の低い沿岸地域の氾濫
- (28.7) 4. 海面上昇による海岸の侵食、海岸線の後退
- (13.1) 5. 海面上昇による地下水の塩水化
- (59.9) 6. 降水量の変化や水温の上昇による自然環境や生態系への影響及び河川・湖沼の水質汚濁による上水道の品質悪化
- (1.7) 7. その他 (具体的に→) _____
- (1.8) 無回答 (M. T. =275.4)

問7. 水とかかわりのある豊かな生活を将来にも続けていくために、あなたが行政に力を入れて欲しいと思うことはなんですか。(○はいくつでも)

- (78.5) 1. 洪水・土砂災害防止施設の整備
- (47.8) 2. 水辺環境の保全と整備
- (32.8) 3. 渇水対策の水資源開発施設の整備
- (40.8) 4. 河川や湖沼の水質浄化対策
- (47.5) 5. 水質汚濁防止のための下水道等の整備
- (26.7) 6. 水の再利用の促進
- (44.6) 7. 水源地域の整備・保全
- (25.1) 8. 地下水の保全
- (9.4) 9. 非政府組織 (NGO) などが活動しやすい環境づくり
- (14.3) 10. 水に関する情報や学習機会の提供
- (2.5) 11. その他 (具体的に→) _____
- (1.9) 無回答 (M. T. =371.7)